



## 『春田文庫が、またまた増冊！』

大崎中学校の図書館には『春田文庫』というコーナーが設けられています。これは、千葉県船橋市に在住の春田嘉文さん（70歳・益丸出身）が、本の寄贈を昭和52年から始めたもので、今年で31年目を迎えます。この間に蓄えられた本の総数は、なんと1,330冊にのびります。

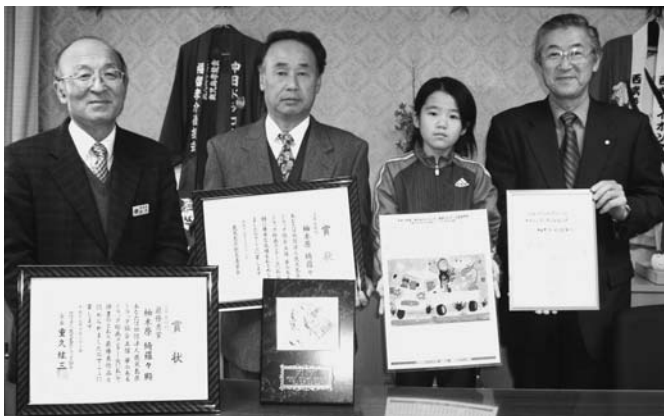
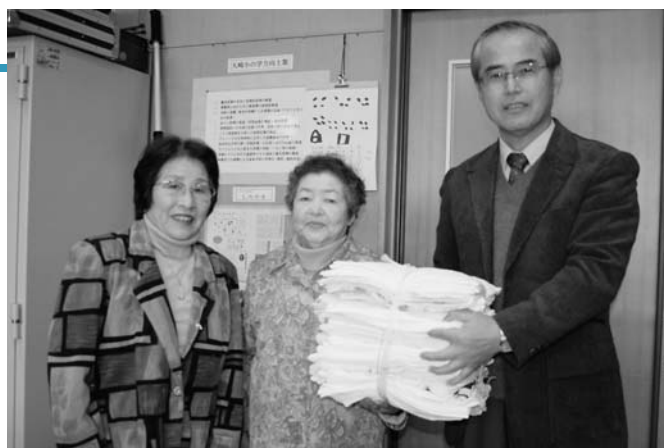
1月21日(月)、春田さんが大崎町を訪れ、毎年恒例の本の贈呈式が、町長室で行われました。春田さんは「自分達が幼少の頃は、本を買うことも難しく、大変苦労しました。今の若者に本を読んでもらえることで、知識や向上心を育む手助けができればうれしいです。生きていくちは続けていきたい」と笑顔で話されました。

## 『まだまだ元気！老人クラブ！』

1月23日(水)、大崎町老人クラブ連合会が、町内の小中学校（10校）、福祉施設（4施設）に、雑巾の配布を行いました。

これは、昭和50年から町老人クラブ連合会女性部が『奉仕活動の実践』の一環として毎年行っている『一人一枚雑巾運動』の活動です。今年も気持ちのこもった雑巾724枚が集まり、町内の小中学校や福祉施設に配布され、大変喜んでいただきました。

老人クラブの入木辰雄会長は「60歳以上の方ならどなたでも会員として参加できますので、ぜひお越しください」と話されていました。



## 『ダブル受賞の快挙！』

12月15日(土)、鹿児島市民文化ホールで行われた「2007かごしまG・C（グリーン・クリーン）サウンド作詞・作曲コンクール」で、立小野小学校3年生の柚木原綺羅々さん（写真右から2人目）が、511作品応募のあった『作詞・小学生の部』で、見事グランプリを受賞されました。

また、柚木原さんは、10月21日(日)に開催された「平成19年度夢のあるトラック絵画コンクール」においても、655作品応募のあった小学3年生の部で、最優秀賞を受賞し、『ダブル受賞』という素晴らしい成績を収めました。

## 『町スポーツ少年団駅伝交歓大会』

12月23日(日)、ふれあいの里公園において、町スポーツ少年団駅伝交歓大会が行われ、町内のスポーツ少年団11団体16チームが健脚を競いました。

全コース10区間で競われた駅伝大会は、順位が入れ代わる白熱した展開。優勝チームと2位のチームのタイム差が13秒ということもあって、応援する保護者の方々も応援に熱が入っていました。

熱い戦いを制したのは、曾於大崎スポーツ少年団の曾於大崎F C - Aチーム、2位は菱田スポーツ少年団の菱田ボーイズ、3位は大崎水泳スポーツ少年団の大崎水泳Aチームでした。

